上位システム

______ 各種大型表示器

各種シグナルライト

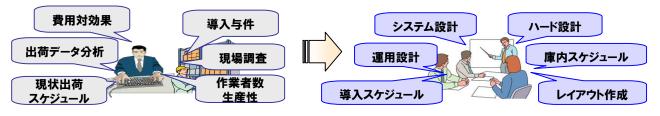
システム機能例



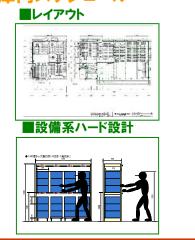
デジタルアソートシステム設計 Engineering

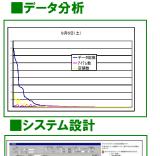
DPSは様々なハードとシステムの組み合わせで構成されます。その設計業務が重要です。

◆現状調査·分析·費用対効果



◆各設計・庫内スケジュール















00:0120-618-200

Digital Picking System

デジタルピッキングシステム(DPS)構築のポイント

デジタルピッキングシステムとはピッキングする商品の在庫位置にデジタル表示器を設置して、 オーダー毎やコンテナ毎にピッキング指示をデジタル表示器に表示させるシステムです。









SEIWA BUSINESS

DPSはバラ商品のピッキングスピードを追求するには最も効果の出るマテハンです。 但し、DPSのデメリットを充分理解して設計しないと導入効果はでません。





日本公文教育研究会(公文塾)様の物流センターに導入させて頂きま したDPSが流通研究社月刊誌Material Flowに掲載されました。

台重方式









業務用食材





■ピッキング順路を1人の作業者が台車やカゴ車等で、デジタル表示 器に表示された指示に従い、各ブロックをピッキングしながら一巡す る方式です。

- 在庫している棚あるいはピッキング棚の間口に表示器を設置します。
- ■ピッカー数をメドにブロック分割して、ブロック毎の機器を設置します。
- ■Uターンしてスタート位置に戻るレイアウトが理想的です。

Point

- ■ブロックで滞留させないように各ブロックのヒット数を平均化するこ とが重要です。
- ■スタートブロックやエンドブロックでDPSと連動して店舗ラベル発行 が可能です。
- ■基本は追越し不可なのでピッキング<mark>通路幅は狭く</mark>(1m前後)します。 ※追い越し可能な仕組み作りは可能です。
- 1店舗のコンテナ数により台車を選定しますが、ピッキング中に台車 搭載数をオーバーした場合はどこかに逃す運用ルールが必要です。
- ■ピッキング以外の作業動線を短縮して、コンテナ降しや空コンテナ 積みなどの作業を流れ作業の中でやれるレイアウトや動線を設計 します。
- ■容積計算でコンテナ数を算出できれば、スタート地点でコンテナを セットできますので、ピッキング中のコンテナ補充が無くなります。

➾ ブロックエンドの完 了表示器ボタン押 下する。 表示に従いピッキ ングして表示器ボ タン押下する。 空コンテナを台車 に準備する。 コンテナ数入力 して店舗ラベル 発行する。

■ 各ブロックにピッカーが張り付き、デジタル表示器に表示された指示 に従いピッキングして、コンテナを次のブロックにリレーする方式です。

両面ピッキング

- 在庫している棚あるいはピッキング棚の間口に表示器を設置します。
- ■ピッカー数やピッキングする距離を考慮し、ブロック分割して、ブロッ ク毎の機器を設置します。
- ■コンベヤを設置してコンテナを流しながらリレーしていくのが一般的 です。

Point

リレー方式

- ■リレー方式は台車方式と比較すると、**作業者数の調整**はやりずらく なります。
- ■容積計算でコンテナ数を算出できれば、スタート地点でコンテナを セットできますので、ピッキング中のコンテナ補充が無くなります。
- ■ピッキングした商品をDPS連動固定スキャナーでスキャン検品して コンテナ投入することもできます。
- |DPS連動駆動コンベヤを使用する場合は、コンベヤの移動時間を 考慮した設計が必要です。
- ■あるブロックでコンテナが滞留(ボトルネック)しないような、商品配 置やブロック構成、ヒット率平均化が必用です。
- |コンベヤ制御により、メインコンベヤラインよりヒットしているブロック のみに分岐させたり、ピッキングが終了したコンテナは排出コンベヤ に流すなどの様々なライン構成が可能

高速ピッキング方式

数が多い場合、高速対応のDPSを構築します。

| 必要スピードに応じてDPSを設計します。



ケース品バッチピッキング

表示に従いピッキ ングして表示器ボ タン押下する。 ①プロック ②ブロック 空コンテナをコンベヤに載 ブロックエンドの完了表示 器ボタン押下する。次のブ せる。

店舗ラベルを発行してコ ンテナに貼る。 ※発行枚数は容積計算

ロックにコンテナを押し込む。



カートピッキング



マルチピッキング









アクセスポイントと無線表示器の距離は 約30~40mです。

6連充電器



充電時間:約10時間で 約180時間使用可能。 ※表示部が電子ペーパーの場合





オークラ輸送機製ピカトルク



オリコン自動組立装置



■フリーレイアウト必須、固定設備NGの場合、無線表示器を活用します。

■無線表示器をセットするコンテナやカゴ車により取付金具を設計します。

Point

- ■表示器以外の機器も無線対応, モバイル対応することにより、固定 設備無しのDPSを構築できます。
- ■表示器の充電やセット作業がありますので、表示器数が多いと無線 表示器は向いてません。
- ■無線表示器と商品を紐付けすることが必要です。マスタにて固定登 録したり、都度、商品と表示器をスキャンして登録する方法があります。
- ■無線表示器は一般表示器より当然コスト高ですが、現場設置工事費 用は抑えられます。



表示される。商品コンテナにセットされた無線表示器

にはピッキング指示が表示される。

|前作業(オリコン組立&セット,オリコンラベル発行&セット等)が手 作業で追いつかない場合はオリコン自動組立装置やオートラベラー で機械化・高速化します。

を設置します。

Point

ション方式

|作業者のピッキングスピードを上げることと同時に、待ち時間をつく らないことを重要視して仕組みつくりします。

■ピッキング棚と投入先指示のためコンベヤサイドにもデジタル表示器

複数店舗同時ピッキング、先取り可能ピッキング、先取りナビゲー

5配送先同時タクト式

